

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

ホームページ



長崎県教育委員会の情報を詳しく掲載しています

公式 Instagram



「学校のネタ帳」をテーマに長崎の学校の話題を発信しています

先生たちが「夏休み充電宣言」で自分磨き!!

長崎県では、学校の夏休み期間を活用して、先生たちの心身の休養と研修による自分磨きを図る「夏休み充電宣言」をこの夏から実施します。この「夏休み充電宣言」により、先生たちが働きがいを感じながら、生き生きと授業を行い、子どもたちへの教育活動に還元していきます。



どうして先生は「充電」がいのの?

先生たちの長時間労働やなり手不足が全国的な課題となっています。そこで、県教育委員会では独自のプラン「学校の働きがい改革2023」をまとめました。夏休みも多忙であった先生たちに今までよりも休暇を取りやすくするとともに、主体的で探究的な学びができる研修機会を設けることで、教員としての資質を高め、生き生きとした姿で教育活動に向き合うことを目指しています。



先生が学びを深める好機は

この夏から全国に先駆けて、「承認研修」を積極的に活用します。承認研修は、教員の資質能力の向上を目的としています。美術館や図書館などで教養を深めたり、ふるさとを授業に生かすための現地での調査活動など、主体的で探究的な研修を行うものです。



承認研修の具体例



美術館や図書館など公共施設での研修



県教育委員会が後援している学習会での研修



県教育センターのオンデマンド研修を自宅で受講



県民の生涯学習の場である「ながさき県民大学」の講座を受講



地域行事などへの参加

先生の「充電」が、子どもたちにも好影響

先生たちが承認研修で身につけた幅広い知識や豊かな経験は、先生としての幅を広げ、子どもたちへの授業づくりに生かされます。先生たちが主体的に学ぶ姿は、子どもたちにとってもいい刺激になるでしょう。



Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く先生たちにスポットを当てます



今回紹介するのは
県立佐世保特別支援学校の

中村健先生

チームの中で働く安心感

中村先生ってどんな先生?

五島海陽高校出身で、高校時代の特別支援学校の分教室の生徒との交流が将来を考えるきっかけに。初任校で4年目。いつか故郷の五島でも働きたいという夢を持っています。2児のお父さんです。

先生のリフレッシュ方法

地域のナイターソフトボールチームに所属しています。月2、3回の試合が楽しみです。

教員を目指したきっかけは

高校時代に先生から、「特別支援学校の教員が向いているのでは?」と言われたのがきっかけです。特別支援学校の分教室が併設されていたこともあり、昼休みなどは分教室の生徒と交流をしていて、生徒が一生懸命に取り組む姿に心を動かされました。

この仕事に就いて良かったと思うとき

授業でも生活面でも、一人ひとりにどのような支援が合うのかを考えて準備をしています。子どもたちが分かったことへの喜びを感じ、笑顔になった時はうれしく思います。コミュニケーションが取れているクラスで、先生方も子どもたちもよく笑っています。

現在の勤務形態について

小学1年~3年生が在籍するクラスの担任です。担任は全部で5人です。「チームティーチング」といって、チームでクラスを担当します。困った時などに他の先生方に相談できることが心強く、子どもが病気になった時も、休みを取りながら支障なく仕事をすることができました。